



2019年度第1四半期  
決算報告

2019年7月24日

## 1. 2019年度第1四半期 実績

## 2. 2019年度 業績見通し

## 3. ビジネスハイライト

## 2019年度第1四半期 業績サマリー【前年同期比】



(億円、千台)	FY18 1Q (2018年4-6月)	FY19 1Q (2019年4-6月)	増減	
			差異	率
売上高	5,600	<b>5,362</b>	-238	-4%
営業利益 (利益率)	281 (5.0%)	<b>39</b> <b>(0.7%)</b>	-242 (-4.3 P.P.)	-86%
経常利益	334	<b>-14</b>	-348	-
当期純利益*	282	<b>93</b>	-189	-67%
販売台数 (小売台数)	292	<b>298</b>	+6	+2%

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

3

2019年度第1四半期の売上高は、流通在庫調整のための出荷抑制により、前年同期比4%減の5,362億円となりました。

営業利益は、投資の一部見直しや費用削減にも取り組みましたが、効果が出るまでに時間がかかるものもあり、結果として前年度の281億円から39億円、営業利益率は0.7%と大幅減益となりました。

経常利益は、営業外での為替差損の影響が大きく、14億円の赤字となりました。一方当期純利益に関しては、税金関連の一過性要因等により93億円となりました。

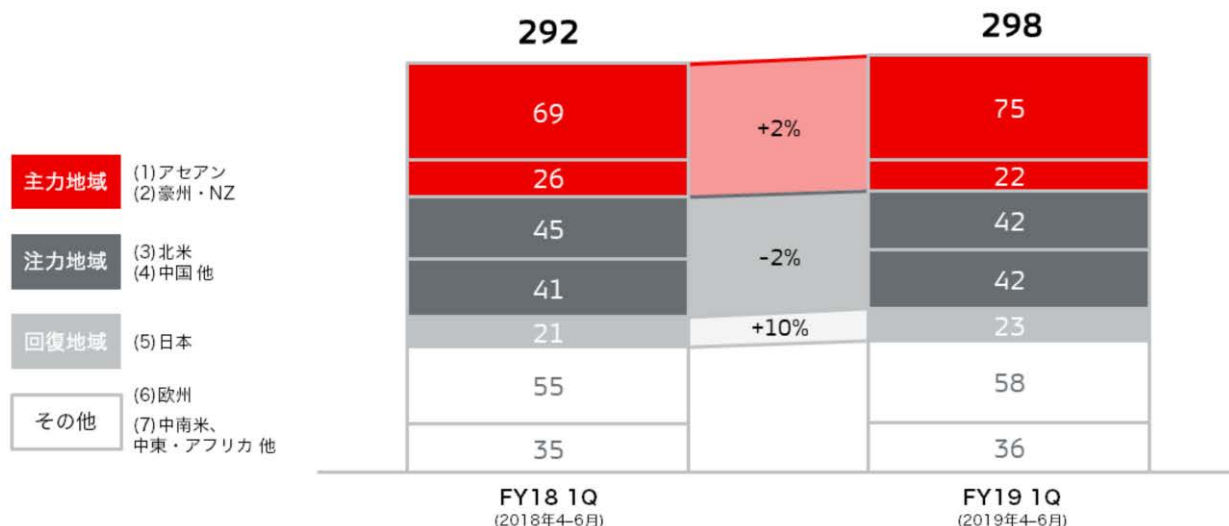
販売台数は、グローバルで29万8千台となり、前年同期比で2%の増加となりました。

# 2019年度第1四半期 販売台数実績【前年同期比】



販売台数: 298千台, 2%増

小売台数 (千台)



中国の小売実績については、2019年度から小売台数の集計方法を変更しました。このため、2019年度に計上する小売台数については、2018年度以前に計上した台数が含まれている場合があります。

4

グローバル自動車需要が減少する中、当社第1四半期実績は前年同期比2%増加の29万8千台となりました。

主力のアセアンは、それぞれの国における強弱感はあるものの、概ね計画線にそった進捗となりました。

豪州・NZにつきましては、特にオーストラリアの景気減速により需要がSUV、LCV、乗用車いずれも弱含んでおり、当社の販売もその影響を受けております。

今年度、大幅な成長を目指す日本においては、2019年初めより順次販売を開始した、「デリカD:5」や「eKクロス/ワゴン」などの新車効果により、前年同期を上回りました。

その他地域に関しては、全需が伸び悩む中での競争激化の影響が多少なりともあるものの、ほぼ前年並みの進捗となりました。



1. 2019年度第1四半期 実績

2. 2019年度 業績見通し

3. ビジネスハイライト

## 2019年度 通期業績見通し【前年度比】



(億円、千台)	FY18 実績 (2018年4月-2019年3月)	FY19 見通し (2019年4月-2020年3月)	増減	
			差異	率
売上高	25,146	<b>25,800</b>	+654	+3%
営業利益 (利益率)	1,118 (4.4%)	<b>900</b> <b>(3.5%)</b>	-218 (-0.9 P.P.)	-19%
経常利益	1,199	<b>1,000</b>	-199	-17%
当期純利益*	1,329	<b>650</b>	-679	-51%
販売台数 (小売台数)	1,244	<b>1,305</b>	+61	+5%

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

7

2019年度の通期業績見通しを5月に公表いたしましたが、この見通しに変更はございません。

世界的な景気の不透明感は依然晴れず楽観は禁物ではありますが、需要が安定的に堅調なアセアンをドライバーに、年後半にむけて計画に沿って、売上を回復させてまいります。

また、更なるコスト最適化を進め、収支のバランスを整え、通期見通しを達成するべく全力を尽くします。

1. 2019年度第1四半期 実績

2. 2019年度 業績見通し

3. **ビジネスハイライト**





エクリプスクロス  
(クリーンディーゼルモデル)



ASX (2020年型モデル)



当社は、コア商品の強化と刷新にも注力しており、計画通りに6月13日に、「エクリプス クロス」クリーンディーゼルエンジン搭載車を発売しました。

また、来る7月25日には、タイにて新型パジェロスポーツの販売を開始いたします。

更には今年度中に、国内向けに「eKスペース」の後継となる新型軽スーパーハイトワゴンを投入します。

また、その他の既存モデルに関しましても、順次刷新モデルを投入し、ライフサイクルマネジメントを強化いたします。その一例として、「エクスパンダー」の派生モデルのSUVタイプを年内に投入いたします。なお、「エクスパンダー」においては、現在の輸出先は12ヶ国ですが、輸出を拡大し、今後、アジア、アフリカ、中東諸国など、新たに10ヶ国を輸出先に加えます。



7月8日に発表いたしました通り、当社は三菱商事株式会社とともに、インドネシア発モビリティサービス大手GOJEK社に出資し、今後3社で共同プロジェクトを協議するパートナーシップに関する覚書を締結致しました。

ゴジェックは、輸送やフードデリバリー、買い物代行など、市民生活の日常ニーズに応える様々なサービスをアプリを通じて提供しており、インドネシアを中心に東南アジアで事業を急拡大しています。今後、ゴジェックのプラットフォームを活用し、新たなモビリティサービスを検討してまいります。



---

## APPENDIX

## 2019年度第1四半期 バランス・シート【前年度末比】



(億円)	FY18 (2019年3月末)	FY19 1Q (2019年6月末)	増減
資産合計	20,103	19,096	-1,007
うち現金及び預金	5,009	4,044	-965
負債合計	11,291	10,446	-845
うち有利子負債*	2,310	2,613	+303
純資産合計	8,812	8,650	-162
自己資本 (自己資本比率)	8,718 (43.4%)	8,562 (44.8%)	-156
ネットキャッシュ 【自動車事業及び消去】	5,439	4,291	-1,148

\* リース債務を含む

## 2019年度第1四半期 地域別業績【前年同期比】



(億円)	売上高			営業利益		
	FY18 1Q (2018年4-6月)	FY19 1Q (2019年4-6月)	増減	FY18 1Q (2018年4-6月)	FY19 1Q (2019年4-6月)	増減
合計	5,600	<b>5,362</b>	-238	281	<b>39</b>	-242
- 日本	902	<b>1,120</b>	+218	-1	<b>-34</b>	-33
- アセアン	1,257	<b>1,398</b>	+141	143	<b>115</b>	-28
- 中国 他	276	<b>147</b>	-129	48	<b>-3</b>	-51
- 北米	943	<b>734</b>	-209	-27	<b>-51</b>	-24
- 欧州	1,047	<b>1,089</b>	+42	25	<b>-24</b>	-49
- その他	1,175	<b>874</b>	-301	93	<b>36</b>	-57

## 2019年度第1四半期 設備投資・減価償却費・研究開発費 実績



(億円)	FY18 1Q (2018年4-6月)	FY19 1Q (2019年4-6月)	FY19 見通し (2019年4月-2020年3月)
設備投資 (前年同期比)	342*	195 (-43%)	1,425 (+3%)
減価償却費 (前年同期比)	130	169 (+30%)	750 (+22%)
研究開発費 (前年同期比)	266	305 (+15%)	1,410 (+13%)

\* 過去の流動化資産の買い戻しなどの一時的要因を含む

# 2019年度 営業利益見通し変動要因分析【前年度比】





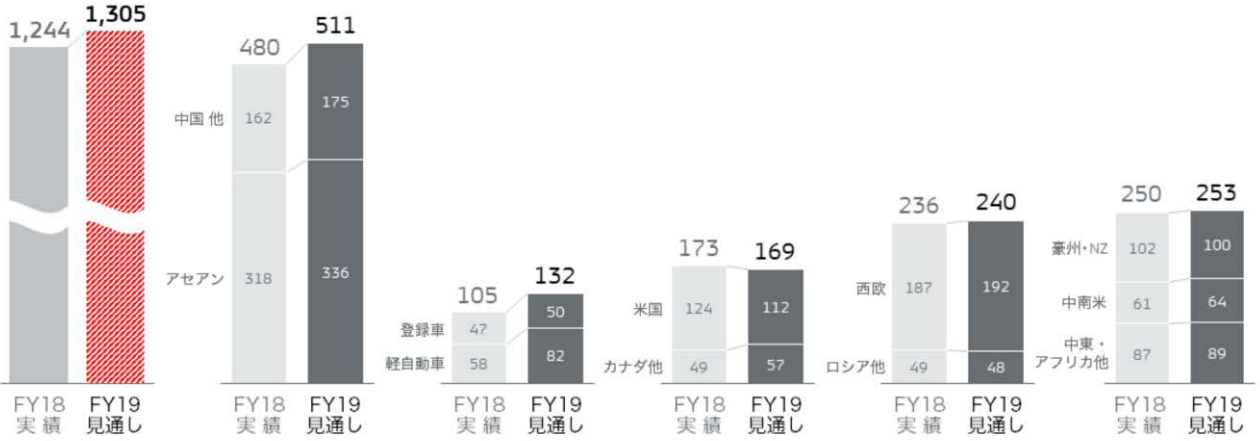
## 2019年度 地域別売上高見通し【前年度比】



(億円)	FY18 実績 (2018年4月-2019年3月)	FY19 見通し (2019年4月-2020年3月)	増減
合計	25,146	<b>25,800</b>	+654
- 日本	4,287	<b>5,500</b>	+1,213
- 北米	3,878	<b>3,700</b>	-178
- 欧州	5,141	<b>4,850</b>	-291
- アジア	6,639	<b>6,800</b>	+161
- その他	5,201	<b>4,950</b>	-251

# 2019年度 小売台数見通し【前年度比】

(千台)



合計	アジア	日本	北米	欧州	その他
<b>+61</b> (+5%)	<b>+31</b> (+6%)	<b>+27</b> (+26%)	<b>-4</b> (-2%)	<b>+4</b> (+2%)	<b>+3</b> (+1%)

# 2019年度 設備投資・研究開発費・減価償却費見通し

## 設備投資\*

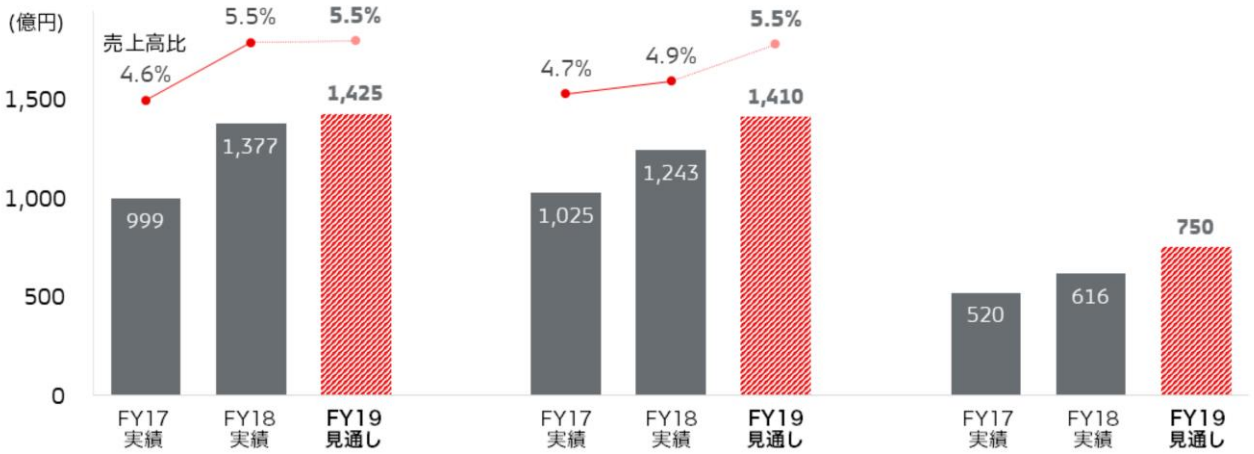
1,425億円  
+3% (YoY)

## 研究開発費

1,410億円  
+13% (YoY)

## 減価償却費

750億円  
+22% (YoY)

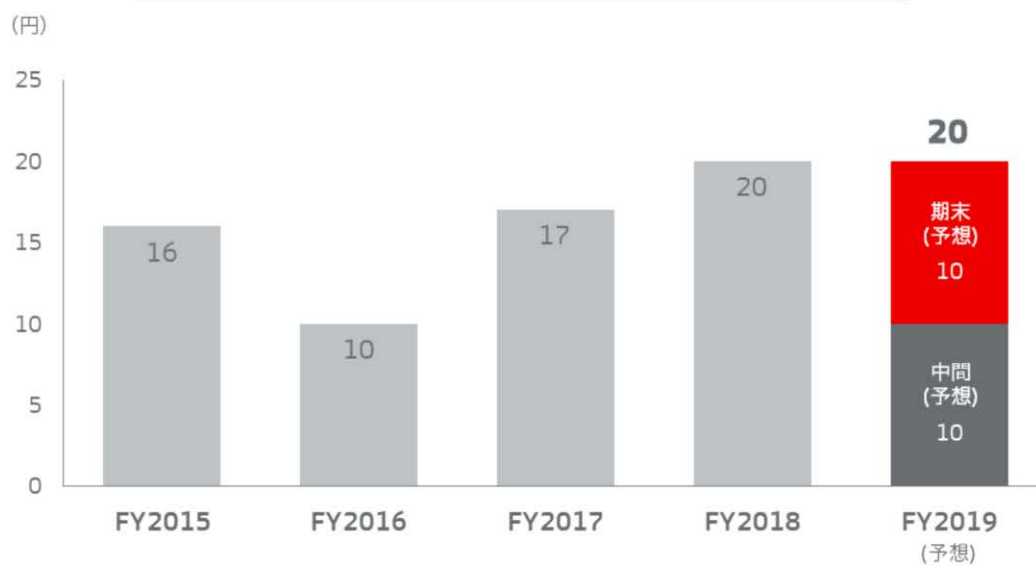


\* 過去の流動化資産の買い戻しなどの一時的要因を含む

## 株主還元予想



1株当たり配当金: 20円 (見通し)



本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでおります。従いまして、今後の当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、金利・為替の変動、関係法令・規則の変更可能性等により、実際の業績がこれらの記述と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。